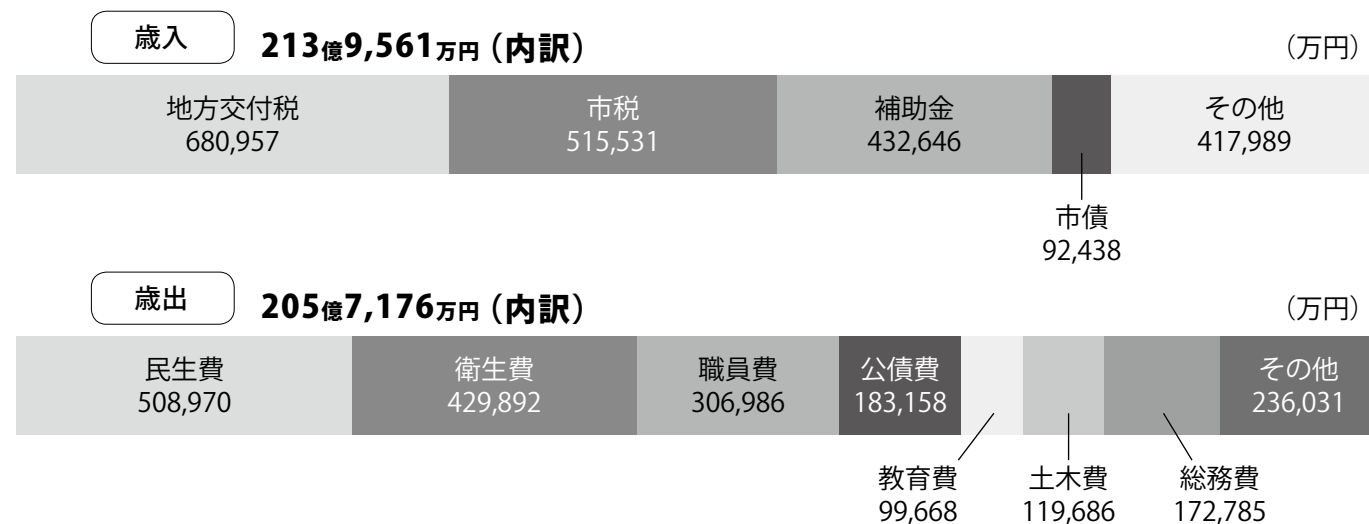


令和元年度の主な経費（一般会計）

※端数処理のため、合計が合わないことがあります。



いろいろな経費があるみたいだけど、私たちの生活で身近なものは？

経費の中には聞き慣れないものもあるかと思います。主なものは以下のとおりです。



民生費関係 …障がい者や高齢者に対する福祉、子育て支援などのための経費です。



- 生活保護に要する経費 12億5,131万円
- 障害者自立支援給付に要する経費 10億3,833万円
- 後期高齢者医療に要する経費 6億6,577万円

衛生費関係 …ゴミ処理や保健・医療など、健康で衛生的な生活を送るための経費です。



- 保健衛生対策に要する経費 7億5,219万円
- じん芥の収集処理に要する経費 2億3,667万円
- 感染症等対策に要する経費 7,552万円

教育費関係 …学校教育や生涯学習の充実、スポーツ振興などのための経費です。



- 学校給食の実施に要する経費 2億1,128万円
- その他小学校教育の実施及び管理に要する経費 1億6,050万円
- 体育施設の運営管理に要する経費 7,102万円

土木費関係 …道路、橋、河川、公園の整備や除雪・排雪など、まちづくりのための経費です。



- 除雪・排雪対策に要する経費 4億4,904万円
- 道路・橋りょうの維持に要する経費 1億1,842万円
- 道路の新設改良事業費 1億7,720万円

まちの家計簿 決算と執行状況からみる市の財政

滝川市の令和元年度の一般会計・各特別会計・各企業会計の決算がまとまりました。皆さんから納めていただいた税金や国・道からの補助金などがどのように使われたのかをお知らせします。なお、令和元年度決算については、今年度の第3回滝川市議会定例会において審査の結果、認定されました。

令和元年度決算状況

決算とは、市に1年間に入ってきたお金(歳入)と使ったお金(歳出)の最終合計を表したものです。下の表のとおり、令和元年度の一般会計は歳入が213億円、歳出が205億円となっており、特別会計合計は、歳入101億円、歳出98億円となっています。

一般会計・特別会計 歳入歳出の決算状況

区分		歳入決算額 (1)	歳出決算額 (2)	歳入・歳出差引額 (3)=(1)-(2)	翌年度に繰り越すべき財源※ (4)	実質収支額 (5)=(3)-(4)
会計別						
一 般 会 計		213億9,561万円	205億7,176万円	8億2,385万円	1,681万円	8億 704万円
特 別 会 計	国 民 健 康 保 険 特 別 会 計	46億1,033万円	45億1,900万円	9,132万円	0	9,132万円
	公 営 住 宅 事 業 特 別 会 計	8億6,884万円	8億 738万円	6,146万円	0	6,146万円
	介護保険特別会計・保険事業勘定	39億2,247万円	37億7,121万円	1億5,126万円	0	1億5,126万円
	介護保険特別会計・サービス事業勘定	9,412万円	6,814万円	2,598万円	0	2,598万円
	後 期 高 齢 者 医 療 特 別 会 計	6億1,353万円	6億1,247万円	106万円	0	106万円
	土 地 区 画 整 理 事 業 特 別 会 計	7,360万円	7,360万円	0	0	0
特 別 会 計 合 計		101億8,289万円	98億5,180万円	3億3,109万円	0	3億3,109万円
一 般 ・ 特 別 会 計 合 計		315億7,850万円	304億2,356万円	11億5,494万円	1,681万円	11億3,813万円

※端数処理のため、合計が合わないことがあります。

企業会計

下水道事業	収益的収支 (税抜)	
	収入	13億 6万円
	支出	12億4,587万円
	差引	5,419万円
	資本的収支 (税込)	
	収入	8億7,842万円
	支出	13億1,739万円
	差引	△4億3,897万円

病院事業	収益的収支 (税抜)	
	収入	63億7,415万円
	支出	69億9,250万円
	差引	△6億1,835万円
	資本的収支 (税込)	
	収入	1億1,090万円
	支出	5億7,348万円
	差引	△4億6,258万円

【一般会計・特別会計・企業会計とは】

行政に必要な全ての経費を一つの会計で扱うと、複雑で分かりにくくなってしまいます。このため、行政運営の基本的な経費(福祉や教育、土木など)を「一般会計」として、国民健康保険や公営住宅事業など、特定の事業にかかる経費を「特別会計」として管理しています。また、下水道事業と病院事業は、独立採算制の「企業会計」として経営を管理しています。

健全化判断比率

指 標	結 果	早期健全化基準※	各指標の内容
実質赤字比率	数値なし	13.13%	一般会計を中心とした赤字の割合を表す指標です。
連結実質赤字比率	数値なし	18.13%	一般会計のほか、特別・企業会計も含めた全会計の赤字の割合を表す指標です。
実質公債費比率	9.7%	25%	市の平均的な年間収入に対する借金返済額の割合を表す指標です。
将来負担比率	75.3%	350%	市の平均的な年間収入に対する将来に負担が見込まれる負債(借金)の割合を表す指標です。

※この基準を超えると国の定めに従い、健全化に向けた取り組みが必要となります。

指 標	結 果	経営健全化基準※	指標の内容
資金不足 比率	下水道事業 数値なし	20%	公営企業(滝川市は下水道事業・病院事業会計が該当します)の資金不足額が、事業規模に対してどの程度の割合なのかを表す指標です。
	病院事業 15.7%	20%	

※資金不足比率が経営健全化基準を上回った場合には、経営健全化計画を策定し、経営の健全化に努めなければなりません。

令和2年度予算の執行状況——令和2年9月末現在

▼各会計の現在高 (万円)

		予算額	収入済額	執行率(対予算)	支出済額	執行率(対予算)
特別会計	一般会計	2,781,231	1,510,353	54.3%	1,465,287	52.7%
	国民健康保険	452,784	189,820	41.9%	170,799	37.7%
	公営住宅	52,123	21,095	40.5%	21,639	41.5%
	介護保険	403,168	205,687	51.0%	155,679	38.6%
	後期高齢者	65,534	31,346	47.8%	20,233	30.9%
	土地区画整理	5,533	0	0.0%	1,819	32.9%

▼企業会計の現在高 (万円)

		収 入			支 出		
		予算額	執行済額	執行率(対予算)	予算額	執行済額	執行率(対予算)
下水道事業	収益的収支	133,710	57,712	43.2%	128,666	14,758	11.5%
	資本的収支	86,656	14,970	17.3%	128,351	32,790	25.5%
病院事業	収益的収支	702,437	330,295	47.0%	747,675	269,984	36.1%
	資本的収支	17,632	0	0.0%	66,167	29,202	44.1%

▼一時借入金の現在高

令和2年9月末現在の一時借入金の残高は0円です。
※市が一時的に資金不足となった場合、金融機関から借りるお金を「一時借入金」と言います。



市の財産(令和元年度末)

土地 1,412万㎡	建物 33万㎡	基金 34億3,225万円	有価証券 3,495万円	出資金 37億3,899万円
-------------------	----------------	----------------------	---------------------	-----------------------

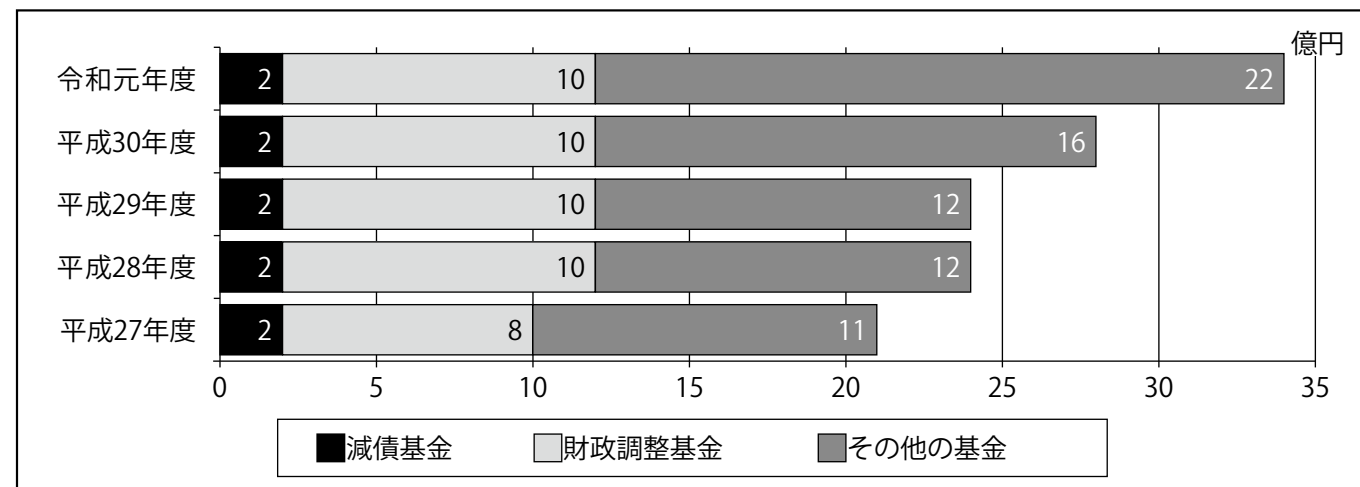
市債の現在高と基金残高推移(令和元年度末)

▼市債(市の借金)の現在高

会 計	金 額
一般会計	154億 505万円
公営住宅事業特別会計	27億4,668万円
土地区画整理事業特別会計	1億1,083万円
下水道事業会計	63億9,384万円
病院事業会計	78億2,259万円
合 計	324億7,899万円



▼基金(市の貯金)残高推移



※減債基金とは、将来の借金の返済に備え、積み立てる基金です。

※財政調整基金とは、年度によって生じる財源の不均衡を調整するための基金です。

市民1人当たりの金額

令和元年度決算をもとに税金(国民健康保険税除く)、借金(一般会計分)、貯金を1人あたりに置き換えてみました。

- 市民1人が納めた税金…………… 111,245円
- 市民1人の貯金(基金)…………… 87,082円
- 市民1人の借金(市債)…………… 390,852円

※ただし、市債の66.4%は国から地方交付税として戻してもらえる制度がありますので、実質的な市民1人の借金(市債)は131,315円となります。